

## 平成 29 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

## 1 調査の概要

- (1) 調査実施日 平成 29 年 4 月 18 日 (火)
- (2) 調査の目的
- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図る。
  - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
  - ・そのような取組を通じて，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 調査の対象
- ・小学校第 6 学年の全児童
  - ・中学校第 3 学年の全生徒
- (4) 調査の内容
- 教科に関する調査 (国語，算数・数学)
- ・主として「知識」に関する問題 (A)
  - ・主として「活用」に関する問題 (B)
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
- ・児童生徒に対する調査
  - ・学校に対する調査
- (5) 調査の方式
- ・悉皆調査 (全員を対象とした調査)
- (6) 本市の参加状況 (市立小中学校)
- ・小学校 92 校，約 6,250 人
  - ・中学校 43 校 (分校を含む)，約 6,300 人

## 2 教科に関する調査結果 (市立小中学校)

- ・本市の教科に関する調査結果については，本年度から，少数点以下は四捨五入処理がされており，正確な比較はできませんが，全国平均とほぼ同じ状況にあります。
- ・国語科では，小学校・中学校ともに，「知識」に関する問題が全国平均を上回りましたが，「活用」に関する問題は全国平均とほぼ同じ状況にあります。
- ・算数・数学科では，小学校は，「知識」及び「活用」に関する問題ともに，全国平均を上回りましたが，中学校は，「知識」及び「活用」に関する問題ともに，全国平均とほぼ同じ状況にあります。
- ・経年変化を見ると，小学校はここ数年，全国平均を下回っていましたが，今年度は全国平均を上回り，回復傾向が見られます。中学校は全国平均を上回る状態が続いていますが，徐々に全国平均に近づいてきています。

\*表中の数値は、平均正答率を示している。(H29年度より整数値による公表)

\* (A)は主として「知識」に関する問題,(B)は主として「活用」(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など)に関する問題

学 年		小学6年生			
教 科		国 語		算 数	
問 題		A	B	A	B
H27	本市	70.1% (+0.1)	63.5% ( 1.9)	74.3% ( 0.9)	45.4% (+0.4)
	全国	70.0%	65.4%	75.2%	45.0%
H28	本市				
	全国	72.9%	57.8%	77.6%	47.2%
H29	本市	77% (+2)	58% (±0)	80% (+1)	47% (+1)
	全国	75%	58%	79%	46%

学 年		中学3年生			
教 科		国 語		数 学	
問 題		A	B	A	B
H27	本市	76.7% (+0.9)	67.4% (+1.6)	65.7% (+1.3)	42.4% (+0.8)
	全国	75.8%	65.8%	64.4%	41.6%
H28	本市				
	全国	75.6%	66.5%	62.2%	44.1%
H29	本市	78% (+1)	72% (±0)	65% (±0)	48% (±0)
	全国	77%	72%	65%	48%

なお、昨年度は熊本地震のため期日を変更して実施しています。  
(小学校は6月、中学校は7月に実施。)

### 3 質問紙調査に関する調査結果(市立小中学校)

- ・質問紙調査では、「学校で友達に会うのは楽しい」「人の役に立つ人間になりたい」等について小学校・中学校ともに「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が9割を超え、全国平均を上回る状況にあります。

質 問 項 目	小学校		中学校	
	本市	全国	本市	全国
学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	97.1% (+0.7)	96.4%	95.9% (+1.3)	94.6%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.3% (+0.8)	92.5%	92.3% (+0.4)	91.9%